

飯豊連峰保全連絡会・朝日連峰保全協議会の活動をふりかえって

佐々木 大樹（環境省 羽黒自然保護官事務所 自然保護官補佐）

平成 22 年度の飯豊連峰保全連絡会（以下連絡会）の合同保全作業では、57 人もの参加者があった。例年 30 人前後の参加者であるが、22 年度は参加者の数がふくらみ、宿泊する門内小屋に一部の参加者が泊まれないことから、指定地にテントを張ったほどである。

朝日連峰保全協議会（以下協議会）の合同保全作業では、作業に使用する緑化ネット 20 巻（1.8m×20m 1 巻 15 kg 10 巻）（1.8m×10m 1 巻 10 kg 10 巻）については事前に人力によって荷上げを行う必要があった。「これだけの量を果たして荷上げできるのだろうか」当初は随分心配をしていたが、多くの方が協力していただき、中には毎週のように荷上げを行ってくれた方もいた。結果として、当日の作業時にはほとんど全ての緑化ネットが山の上に上がっていた。

作業当日は、経験者がリーダーとなってグループに分かれ、各自が協力し合って作業を進めていく。作業当日に飛び入り参加者がいることも珍しくはなく、当日に作業に参加することができなくとも、事前に資材や飲食物の荷上げを行ってくださる方など、目に見えない部分でも本当に多くの方が協力をしてくれている。これまで作業箇所の緑化ネットから芽吹きがあり、洗堀箇所の荒廃の進行が小さくなっていることが確認されるととても嬉しいものだ。

このような話を聞くと、どれほど大変な作業なのだろうと思うかもしれないが、参加者の顔を見ていると実に「楽しそう」なのだ。作業当日は様々な雑談が飛び交い、カメラを向ければ笑顔と愉快的ポーズが並び、夜の打ち上げについてはそれは大変なものである。作業中はもちろんのこと、作業地までの移動中、重い緑化ネットを運搬する際でも、参加者の笑顔が絶えることはない。

また、合同保全作業の場が、山岳関係者の仲間と再会できる場にもなっている。前年の合同保全作業以来に顔を合わせるといふメンバーも少なくない。私自身としても、毎年の合同保全作業で山の仲間と顔を合わせることがとても楽しみである。

連絡会や協議会の立ち上げから関わってきた自分の目からみて感じられることとして、関係者は皆、山や自然が好きであることはもちろんだが、同時に人も好きであるということだ。会議での検討の積み重ねや関係者との顔合わせの回数を重ねるにつれて、これまで各団体や個人で行われてきた作業等について情報を共有できるようになり、更に合同保全作業を通して関係者間の一体感が確実に生まれてきているように感じる。これまで山の保全にそれほど関わることはなかった一般登山者についても、山の保全について触れると同時に考える機会にもなっており、また山の仲間との出会いの場、懇親の場にもなっている。合同保全作業で知り合った山仲間が、「今度一緒の山登らないか」というような話になり、

それ以降も付き合いが続くということもよく聞く。作業で知り合った仲間同士がある山で偶然会った、小屋で泊まる際に偶然一緒になったということもよく聞く。私も事務局という立場であることから、当初は緊張感を持って関わる場面も多かったが、ある時に「たまには仕事を忘れて一緒に山に行かないか」と現地作業で知り合った仲間から誘われたことがきっかけとなり、山の仲間と一緒に山に行く機会が増えると同時に、公私ともに飯豊連峰や朝日連峰に関わるようになった。飯豊連峰や朝日連峰に登った際に、知り合いに会わないことの方が珍しくなったくらいである。自分を例に挙げたが、同じようにして山仲間の交流の輪が広がっており、年を追うごとに仲間が増え、仲間との絆が確実に深まってきた。本当に皆、山が好きであると同時に人が好きなのだ。仲間が仲間を呼び、仲間の輪が広がっている。

これまで飯豊連峰や朝日連峰に関わってきた山岳関係者や行政機関、各山岳団体で進めていた登山道整備や保全作業、またこれまで関わる機会が少なかった山岳関係者や一般登山者、皆で手を取り合い、皆で考える中で保全を進めていくことができるならば、これほどのことはないと思う。

もちろん課題もたくさんある。予算面に关わる課題や、新規の参加者が増えることによる技術面での課題等。ここでは詳しくは述べないが、それらは前進に伴うことによって起こっている課題でもあると言える。

これから連絡会や協議会がどのような方向に向かうのか、どのような仲間の輪が広がっていくのかがとても楽しみであり、また、事務局として4年間仕事をさせていただいた中で多くの山仲間と出会えたことと、繋がりを持てたことに、改めてこの場を借りて感謝の気持ちを表したい。

飯豊連峰保全連絡会・朝日連峰保全協議会の活動の様子



ハクサンイチゲと飯豊連峰



H22 合同保全作業参加者記念撮影
(井上邦彦氏撮影)



合同保全作業（朝日連峰・銀玉水）



合同保全作業（飯豊連峰・天狗ノ庭）



朝日連峰主稜線



飯豊稜線